

福江空港

空港の概況

福江空港は、鬼岳の裾野に広がる穀倉地帯を切り開いて、昭和38年、県営空港の先駆として開港した田園空港です。五島市の市街地に近く、五島の空の玄関口として、開港以来重要な役割を担い続け、3度の拡張工事により、昭和63年、ジェット化空港として整備が完了しました。



主な沿革

昭和38年10月	供用開始 (R/W1,100m × 30m)
昭和51年12月	供用開始 (R/W1,500m × 45m)
昭和61年 7月	供用開始 (R/W1,600m × 45m)
昭和63年10月	供用開始 (R/W2,000m × 45m)

空港諸元

種別	地方管理空港(旧第三種空港)
設置管理者	長崎県
所在地	長崎県五島市上大津町
標高	76.6m
滑走路	2,000m × 45m
航空灯火	飛行場灯台、簡易式進入灯、進入路指示灯、進入角指示灯、滑走路灯、滑走路末端灯、滑走路中心線灯、滑走路距離灯、過走帯灯、誘導路灯、誘導路中心線灯、誘導路案内灯、風向灯、航空障害灯、エプロン照明灯
無線施設	LLZ、VOR/DME、NDB
運用時間	8:00～19:30